

文教大学大学院言語文化研究科修士課程

2026年度1期入学試験問題

(2025年9月7日実施)

専門科目 (中国文学 近現代)

問題用紙

受験番号	氏名

一、「日本が中国ナショナリズム勃興により従来の特権を失うことをおそれ、満洲事変（1931 年）を経て、1937 年には遂に中国への全面侵略を開始したのである。これにより中国は国民党支配の「大後方」、共産党支配の「解放区」、そして、日本占領下の「淪陷区」の三つに分かれ、戦時下ながらも大後方と淪陷区では 30 年代の繁栄を受けて文学が成熟へと向かう。その淪陷区上海に彗星のように現れた女性作家が張愛玲であった。」（藤井省三『中国語圏文学史』東京大学出版会、2011 年）

問い：1940 年代における張愛玲の創作活動について、具体的な作品を取り上げながら述べなさい。（50 点）

二、2012 年 10 月、中国国籍の作家として初めてノーベル賞を受賞した莫言の代表作『赤い高粱』及び当該小説を映画化した同名映画について詳しく述べなさい。（50 点）